

水道用水供給事業

中期経営計画（経営戦略）の達成状況

（令和 7 年度）

三条地域水道用水供給企業団

1 事業・取組実施計画に関する状況（基本方針別）

（１）安全な水道水の供給

令和元年度に策定した水安全計画の検証と改善を行い、あわせて徹底した水質管理に努めた結果、水質異常はありませんでした。

今後も、水安全計画に則った管理に努め、安全な水道水を供給し続けます。

区分	令和７年度		
	計画	実績	計画値との差
水安全計画策定等	計画の検証・改善	実施	実施
水質異常発生回数（回）	0	0	0

（２）防災対策の推進

令和７年度は、水管橋耐震化工事はいりませんでした。

災害時対応を想定した連絡対応訓練を実施したほか、浄水場の火災発生を想定した避難・消火訓練等を実施しました。

区分	令和７年度		
	計画	実績	達成状況
水管橋耐震化工事	—	—	—
防災訓練実施回数（回）	3	4	達成

（３）健全な経営の持続

創設残事業については、ろ過池機械設備工事が、計画どおり完了しました。

施設・設備更新事業については、令和７年度は行いませんでした。

経営の効率化を図るための計画目標である、職員数、外部研修参加人数及び経常収支比率は、それぞれ計画を達成しました。

区分	令和７年度		
	計画	実績	達成状況
創設残事業工事	計画期間中、各年度工事等実施（R9完成）	実施	達成
施設・設備更新事業	—	—	—
職員数（人）	14	14	達成
外部研修参加人数（人）	2	8	達成
経常収支比率（％）	134.67	134.76	達成

2 投資・財政計画に関する状況

(単位：千円)

(1) 投資計画

建設事業（創設残事業）は、工程を見直しながら着実に実施しております。

更新事業費について、新潟県の大谷ダム更新事業費の減により負担金が減少したことにより、計画値を下回りました。

区分	令和7年度		
	計画	実績	計画値との差
建設事業費（創設残事業費）	1,718,345	1,499,982	▲ 218,363
更新事業費	13,455	0	▲ 13,455

(2) 財政計画（収支計画）

ア 収益的収支計画

料金収入は、責任水量制の料金を中心としていることから、ほぼ計画どおりの収入を確保しました。

経常的管理経費は人件費の上昇や物価高騰に伴い、委託料、薬品費などが増額したことにより、水道事業費用は、計画値を上回りました。

その結果、収支差引は計画を下回りました。

(単位：千円)

区分	令和7年度		
	計画	実績	計画値との差
水道事業収益（A）	1,263,337	1,250,330	▲ 13,007
1 料金収入	1,087,455	1,087,505	50
2 売電収入	14,137	13,121	▲ 1,016
3 長期前受金戻入	128,232	128,233	1
4 繰入金、雑収益等	33,513	21,471	▲ 12,042
水道事業費用（B）	865,710	866,344	634
1 経常的管理経費	368,667	384,288	15,621
2 減価償却費等	391,610	391,610	0
3 支払利息	105,058	90,077	▲ 14,981
4 雑支出等	375	369	▲ 6
5 特別損失	0	0	0
収支差引（A）－（B）	397,627	383,986	▲ 13,641
損益（収支差引消費税等抜額）	291,682	292,407	725

イ 給水原価、供給単価

給水原価は、計画に比べ下回り、供給単価は計画どおりであったことから、料金回収率は計画値を上回りました。

区分	令和7年度		
	計画	実績	計画値との差
給水原価（円/㎡）	65.00	64.98	▲ 0.02
供給単価（円/㎡）	91.50	91.50	0.00
料金回収率（％）	140.77	140.81	0.04

ウ 資本的収支計画

新発の企業債が減少となったことから、資本的収入は計画値を下回りました。

創設事業関連工事の請負差金や、企業債利息の実行金利の軽減による減少から、資本的支出は計画値を下回りました。

令和7年度の累積留保資金残高は、収益的収支がマイナスとなったことから、計画値を下回りました。

（単位：千円）

区分	令和7年度		
	計画	実績	計画値との差
資本的収入（A）	2,280,900	2,019,152	▲ 261,748
1 企業債	1,148,100	1,023,100	▲ 125,000
2 国庫補助金	566,400	498,026	▲ 68,374
3 建設時出資金、繰出金	566,400	498,026	▲ 68,374
資本的支出（B）	2,765,455	2,533,559	▲ 231,896
1 創設事業費	1,718,345	1,499,982	▲ 218,363
2 施設・設備更新費等	13,455	0	▲ 13,455
3 企業債利息	102,762	102,677	▲ 85
4 企業債償還金	930,893	930,900	7
災害復旧償還金（C）	0	0	0
収支差引（A）－〔（B）－（C）〕	▲ 484,555	▲ 514,407	▲ 29,852
累積留保資金残高	882,966	862,555	▲ 20,411

(単位：千円)

エ 企業債残高

企業債の令和7年度末残高は、新発債の減少により計画値より少額にとどまりました。

区分	令和7年度		
	計画	実績	計画値との差
企業債残高	16,318,254	16,119,448	▲ 198,806

3 令和7年度の計画達成状況の総括

事業・取組実施計画に掲げた事業、目標値はほぼ計画どおりに実施、達成することができましたが、財政計画に掲げた計画値については、人件費の上昇や物価高騰の影響を受けて累積留保資金残高が目標値を下回る結果となりました。

今後も本計画を着実に実行していくとともに、更に経営の効率化を進めることにより、経営基盤の強化と健全な経営を持続してまいります。